

最新の研究成果を生産者に紹介しました

1月31日に当センターにおいて、試験成績報告会を開催したところ、生産者、JA、普及センターなど約120名の参加がありました。

最新の研究成果の紹介では、「トウガラシ自動水やり装置の開発」「アズキの雑草対策」などの報告に対して関心が高く、意見交換が活発に行われました。

アンケートでは、スマート農業で注目されているドローン技術について「農作物診断での活用に期待している」などの感想が寄せられました。

また、現在育成している京都オリジナル良食味米新品種の試食会を行い、「香りが良く、甘みがある」「粒がしっかりしており、食感が良い」など、高い評価が得られました。

当センターでは、引き続き生産現場で役立つ研究を行い、生産者等の意見を聞きながら研究成果の普及を進めていきます。



自動水やり装置のコントロール方法について積極的に意見を述べる生産者



京都オリジナル良食味米新品種の品質等について、会場から研究員へ質問